

行事報告書(研修)

報告者：大地 祥子

行事名	冬の樹木・冬芽観察
実施日時	平成27年2月12日(木曜日) 10時～14時分 晴れ一時雨
場所	武庫川溪谷・武田尾駅周辺
テーマ	武田尾の冬の樹木・冬芽観察
講師	溝部浩二、大地祥子
参加者数	36名
内容 (項目と概要)	<p>武田尾の冬の樹木・冬芽観察</p> <p>[コース] 武田尾駅～武庫川上流～トンネル～武田尾橋を渡る～右岸を下流へ～温泉橋～昼食場所へ～再び温泉橋を渡り右岸を下流へ～コクサギ群生地で折り返し～温泉橋を渡る～武田尾駅</p> <p>[武田尾駅から武田尾橋] 鱗芽を付ける植物は ナナミノキ、ヌルデ、イボタノキ、カスミザクラ、ヒメコウゾ、ヤマブキ、ヨコグラノキ、サルトリイバラ等。裸芽はクマノミズキ、アカメガシワ、ニガキ。陰芽でガンピがあった。</p> <p>[武田尾橋～温泉橋] イロハモミジとエンコウカエデ、ムラサキシキブとヤブムラサキ、ガマズミとコバノガマズミ、アブラチャンとダンコウバイの冬芽を比較した。 山には有馬層群の白い露岩、川に流紋岩が見られた。その他の冬芽はシラキ、イヌガヤ、ヤマコウバシ、アラカシ、マルバアオダモ、ヤマザクラ、ヤマウコギ、クサギ、カワラハンノキ等それぞれ特徴を持っていた。 常緑つる性のスイカズラは葉を内側に曲げ、テイカカズラ、スギは紅葉し冬を越そうとしていた。</p> <p>[温泉橋～コクサギ群生地～温泉橋～武田尾駅] オニグルミ、ケケンポナシ、コクサギの群落を見ながら、ネムノキ、ジャケツイバラ、キササゲ、ゴンズイ、フユザンショウ、ツルウメモドキ、ヒトツバハギ等の冬芽及び葉痕を観察した。</p>
まとめ感想	植物が多様な姿で冬越ししているのを観察し、勇気付けられました。

テイカカズラ



オニグルミ

